

検査Ⅴ 国語

【一】次の文章を読んで、各問いに答えなさい。



(中野剛志『奇跡の社会科学』による)

問一 二重傍線部①～⑤について、漢字はその読みを、カタカナはその漢字を答えなさい。

問一 傍線部A『回り道』のアプローチ、傍線部B『直接的』なアプローチとあるが、ケイが挙げていた次のア～ウの例は、どちらのアプローチに該当するか、『回り道』のアプローチに該当する場合はA、『直接的』なアプローチに該当する場合はBとして答えなさい。

ア アメリカの国立公園管理局は、山火事による森林破壊を防ぐという目標を達成するために、どんなに小さな火災も消火してきた。

イ アメリカの国立公園管理局は、山火事による森林破壊を防ぐために、目標を「山火事の撲滅」から「山火事のコントロール」へと変え、自然発火による火災は放置するよう、ガイドラインを変更した。

ウ アメリカの国立公園管理局は、山火事による森林破壊を防ぐという目標を達成するために、どの火災を消火し、どの火災を放置するか判断をベテランの林務官に委ねるようになった。

問二 傍線部C「都市やコミュニティの魅力は、計画という『直接的』なアプローチでできるものはなく」とあるが、その理由を次のようにまとめた。空欄に当てはまる最も適切な語を指定の文字数で本文中より抜き出し、答えなさい。

都市やコミュニティの魅力は、長い時間をかけて、a (五字)の中から生まれた

b (二字)さの中にこそあるもので、人間の理性に限界がある以上、その魅力は、

c (六字)からは生み出し得るものではないから。

問四 傍線部D「ラディカリズムのアプローチの対極にあるものです」とあるが、どういうことか。

九〇字以上一〇〇字以内で説明しなさい。

問五 傍線部E「インクリメンタリズムの方が、スピーディーかつ根本的に、問題を解決できる」とあるが、それはなぜか、その理由を二〇〇字以内で説明しなさい。

問六 傍線部F「それ」の指し示す内容を、九〇字以上一一〇字以内で説明しなさい。

問七 この文章の表現に関する説明として適当なものを、次のア～オの中からすべて選び、記号で答えなさい。

ア この文章は、各種用語について説明し、明確に定義づけることによって、読者の内容理解を助けるものになっている。

イ この文章は、読者に問いかける形で話題を提示した後で説明することによって、読者の理解を深めるものになっている。

ウ この文章は、思想が生じた背景や原因などを整理して書き表すことによって、筆者が取り上げた思想への理解を深めるものになっている。

エ この文章は、個別の具体例を複数挙し、共通点を見出し一般化することによって、筆者の考えがより明確に伝わりやすいものになっている。

オ この文章は、筆者の意見や根拠に対する反論を想定しながら論を展開することによって、読者の共感をより得られるものになっている。



【二】次の文章は、『住吉物語』の一節である。姫君は、継母である北の方の度重なる悪計に耐えかね、父中納言の家を出て、乳母の子である侍従とともに都を離れ、住吉に逃れた。次の場面は、北の方によつて姫君との縁談を妨げられた少将の姿を描く場面から始まる。これを読んで、各問いに答えなさい。

さても、少将はそののち、(I)精進をのみしたまひて、聞こえおはします所々へ参り、ただ、「姫君のおはし所を\*知らされたまへ」とぞ祈りたまふ。また雪降りたるに、鞍馬へ参りて、下向したまへば、日ごろの雪に、埋れ蘆あしの絶え間に水鳥どものある中に、つがはぬ鴛鴦うづすを見たまひて、かく(a)なん、A わがごとく物や悲しき池水につがはぬ鴛鴦のひとりのみゐて

かやうにながめたまへども、聞きとがむ(b)る人もなし。都の中には、①さるべき所々へ参りたまへども、しるしもなし。

いよいよ心空にあこがれ、官仕ひもしたまはねば、父の大臣、「若き人の、いつとなく精進がちにおはするは、よからぬことなり。何ごとを嘆きて、かくありきたまふぞ」とのたまへば、うちかしこまりてゐたまへり。心の中には、人の行方なくなり果てなば、わが身世にもあるまじきものをと思ひつつ、涙洩れ出づれば、②さらぬやうにもてなして立ちたまひぬ。

また中納言殿は、姫君のこと忘るる時なく嘆きたまふ。\*中の君、三の君も折節は嘆き、「あはれ、姫君の、何ごとにつけてもありがたくおはしましたるものを。いかなる所にかおはすらん」と泣きたまふを、北の方、「何ごとを思ま思ましく、さのみに泣きたまふぞ。③わが失せたらんには、なかなかさはあらじ」と腹立ちたまへば、親ながら情けなく、うたてくぞおぼしける。かの、姫君に婚あはせんとありし宰相も、いとめでたくすぐれたる人を、いかでとおぼしけるに、失せたまへると聞き、口惜しきことかなと、嘆きたまひけり。

住吉には、冬籠るままに、いとぞ寂しさのみまさりて、松風荒らかに吹き、波の音もわが身にかかる心地して、水鳥どもの、(II)釣殿に人にも恐れず、上毛の霜を打ち払ふ音、かたはらに聞こゆれば、御眠りうち覚めて、都のことつくづくとおぼしつづけ(c)られて、悲し(d)ければ、

B 水鳥の上毛の霜を打ち払ひ羽風にいとぞ(e)冴さえやわたらんとながめたまへば、御かたはらに臥したる侍従、あはれに聞くにつけても、「あはれ、少将殿の、夜な夜な嘆き明かしたまひしものを。④はべらざるよし聞きたまひて、いかに嘆きたまふらん」などと、心一つに思ひ出だしけり。さて、はかなく年も暮れぬ。

(注)

\*知らされたまへ…原文の表記に基づく。文法的には「知らせさせたまへ」とあるべきところ。

\*中の君、三の君…北の方の実子で姫君の異腹の妹たち。

問一 傍線部(I)、(II)の読みを現代仮名遣いで答えなさい。

問二 二重傍線部(a)～(e)の説明として適当なものを、次のア～オの中からすべて選び、記号で答えなさい。

ア (a)は、強意の係助詞

イ (b)は、完了の助動詞「り」の連体形

ウ (c)は、自発の助動詞「らる」の未然形

エ (d)は、過去の助動詞「けり」の已然形

オ (e)は、ヤ行下二段動詞「冴ゆ」の連用形

問三 A・Bの和歌の句切れについて該当するものを、次のア～オの中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 初句切れ    イ 二句切れ    ウ 三句切れ    エ 四句切れ    オ 句切れなし

問四 傍線部①はどのようなところか、説明しなさい。

問五 傍線部②とあるが、ここには誰の、どのような心情が表れているか、説明しなさい。

問六 傍線部③、④について、傍線部③は「さ」の内容を明らかにし、傍線部④は主語を補い、それぞれ口語訳しなさい。

問七 次のア～カの中から、本文の内容に合致するものをすべて選び、記号で答えなさい。

ア Aの歌は、少将が、眼前の鴛鴦に自らを重ね合わせて、孤独の悲しみを詠んだ歌である。

イ 大臣は、我が子が姫君のことが原因で、道心を固めるのではないかと心配している。

ウ 中の君と三の君は、姫君の身を案じる自分たちに腹を立てる北の方を嘆かわしく思っている。

エ 宰相は、少将と姫君の結婚を後押ししていたが、それが叶わなくなり残念な気持ちである。

オ Bの歌は、姫君が霜を払う水鳥の羽音を聞き、災厄を恐れずに強く生きることを感じた歌である。

カ 侍従は、夜ごとに少将の元を訪れ、姫君を思い一緒に嘆き合ったことを思い出している。

問八 『住吉物語』は、鎌倉時代初期に成立した擬古物語である。次の中から、擬古物語を一つ選び、記号で答えなさい。

ア 宇治拾遺物語    イ 大和物語    ウ 保元物語    エ 松浦宮物語    オ 宇津保物語

【三】次の文章を読んで、各問いに答えなさい。  
なお、設問の都合で送り仮名を省いたところ、文字を改めたところがある。

馬援兄子嚴・敦、竝喜譏議、而通輕

俠客。援在交趾、還書誠之、曰、吾欲汝

曹聞人過失、如聞父母之名、耳可得

聞、口不可得言也。好議論人、長短、妄

是非正法、此吾所大惡也。寧死不願

聞子孫有此行也。

龍伯高敦厚周慎、口無擇言、謙約

節儉、廉公有威。吾愛之重之。願汝曹

效之。

杜季良豪俠好義、憂人之憂、樂人

之樂、清濁無所失。父喪致客、數郡畢

至。吾愛之重之、不願汝曹效也。

效伯高、不得、猶爲謹敕之士。所謂

刻鵠不成、尚類鶩者也。效季良、不得、

陷爲天下輕薄子。所謂畫虎不成、反

類狗者也。

〔小学〕による

(注)

- \*交趾：地方の名。 \*還書：甥の嚴と敦からの来書に対する返事を出した。
- \*汝曹：おまえたち。 \*父母之名：埋葬後は亡父母の名を口にしなかった。
- \*正法：現行の法。 \*周慎：何事も慎重にする。 \*擇言：よくない言葉。
- \*謙約：謙は謙遜、約は行動が放縦でないこと。
- \*無所失：だれとでもよく交友関係を保った。 \*鶺鴒：白鳥。 \*鷺：あひる。

問一 二重傍線部A、Cの読みを、送り仮名も含めて現代仮名遣いで答えなさい。

問二 傍線部①を書き下し文に改めなさい。

問三 傍線部②について、

(一) 「此行」を具体的に示した部分を本文中から一二字で抜き出し、答えなさい。

(句読点を含む。)

(二) (一)の内容を含めて、全体を口語訳しなさい。

問四 傍線部③、④の人物を見立てた動物をそれぞれ本文中から抜き出し、答えなさい。

問五 傍線部⑤のように述べているのはなぜか、龍伯高と杜季良の二人の人物に着目して、

六〇字以内で説明しなさい。

問六 傍線部⑥、⑦について、鶺鴒を彫ることと虎を描くことについて、それぞれどのように述べているか、七〇字以内で説明しなさい。